

玉野・渋川を中心地に ビーチスポーツ協会発足

玉野市の渋川海岸が日本のビーチスポーツの中心地になることを目指す「おかやまビーチスポーツ協会」の設立総会が10日、同市築港の産業振興ビルで開かれた。普及に向けた教室開催、ボランティア活動、日本代表選手育成などに取り組む。

協会は、昨年9月に同海岸で初めて開かれた「全国ビーチサッカー大会」の盛り上がりを一

過性で終わらせたくないと、大会関係者が発案。同海岸や近隣で活動するビーチスポーツ愛好者らに参加を呼び掛けた。

ビーチバレー、ビーチテニス、ビーチサッカー、ビーチヨガ、ビーチフィットネスの5部門で構成。青少年の健全な育成▽競技力、技術力の向上▽地域の活性化への理念の下、多彩な活動を進める。事務局は市内に置

く。

総会には、各競技の団体幹部、市内各種団体の代表、行政関係者ら協会役員や来賓計35人が出席。会長に就任したみなとまちづくりマイスター三宅定子さんが「渋川海岸の砂質はビーチスポーツに最適と競技者の評価が高い。2020年東京五輪ビーチバレー競技の誘致も実現したい」とあいさつした。

(岡本遥加)



多彩な活動を繰り広げる「おかやまビーチスポーツ協会」の設立総会